

試合番号 : 417		試合会場 : ひたちなか市総合運動公園総合体育館				観客数 : 1,333	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:03		試合時間 : 02:03		主審 : 高橋 宏明 副審 : 澤 達大	
日立リヴァーレ		通算 6勝 15敗 ポイント : 21		22 第1セット 25		デンソーエアリービーズ	
監督コメント	レギュラーラウンド最後の試合、ホームゲームで沢山の温かいご声援ありがとうございました。今日のデンソー戦をしっかりと勝ち切り、年明けのチャレンジ4へつなげたかったが、このように形を年内最終戦を終えたことを悔しく思います。自分たちの修正すべき点をしっかりと見つめ直し、チャレンジ4に向けて気持ちをつくっていきます。明日は、白熱したラウンド最終戦となります。明日は、白熱したラウンド最終戦となります。明日は、白熱したラウンド最終戦となります。		1	20 第2セット 25		3	監督コメント 今日もたくさんの方々にご声援いただいたことに深く感謝いたします。ありがとうございました。相手のホームゲームという雰囲気の中でも、序盤から良い入り方ができましたが、速い攻撃に押され始めた時に、流れを持っていかれてしまいました。第4セットは長いラリーを取れたり、オフェンスが機能しました。途中にアクシデントもありましたが、チームで乗り越えることができました。2019年を良い形で締めくくられたので、2020年初戦のホームゲームを勝ち切るために準備していきます。
	25 第3セット 18						
	20 第4セット 25						
	第5セット						
	要約レポート 第1セット、どちらのチームも粘り強い守りを見せ、終盤まで拮抗した展開。デンソーエアリービーズは、兵頭や中元の攻撃を中心にポイントを重ねていく。日立リヴァーレは、タップや長内の攻撃を中心に、渡邊や窪田を織り交ぜポイントを重ねていく。日立は点差を広げたい局面でサーブで攻めきれず逆転を許し、最後はデンソーがダイレクトアタックを決め、セットを先取した。第2セット、デンソーはシニアードや工藤の攻撃で、一気に点差を離しにかかる。日立はタップを中心に長内や渡邊の攻撃で粘ったが、中盤からデンソーが流れを掴みセットを連取した。第3セット、日立はスパイクが決まらず苦しい展開となるが、途中交代した上坂が流れを引き込み、渡邊が果敢に攻める。デンソーは工藤の攻撃を中心に追い上げるも、日立はタップのブロックが冴えたりデンソーの追撃を許さない。日立はそのまま終盤の流れを引き込み、セットを取り返した。第4セット、どちらも負けられない思いから、白熱したラリーが続く。その中で流れを変えたのは、途中出場したデンソー-東谷だった。デンソーは後半、東谷とシニアードが強烈なスパイクを立て続けに決めて日立を突き放し、プレミアカンファレンスの優勝を決めた。						
試合番号 : 418		試合会場 : ウィンク体育館(姫路市立中央体育館)				観客数 : 2,767	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:01		試合時間 : 02:01		主審 : 富田 博一 副審 : 國頭 亮太	
ヴィクトリーナ姫路		通算 3勝 17敗 ポイント : 11		25 第1セット 22		NECレッドロケッツ	
監督コメント	レギュラーラウンド最終週、ホームでの沢山の温かいご声援ありがとうございました。非常に悔しいゲームとなりました。それぞれがしっかりと役割を果たし、シーズンを通して課題としていることが1つでも多く達成できるよう、チーム一丸となって頑張っていました。明日も応援よろしくお願いします。		1	22 第2セット 25		3	監督コメント 第1セットはサーブレシーブが安定せず、なかなか自分達のバレーができませんでした。姫路のホームゲームということも、雰囲気にも飲まれる場面も多かった中、勝ち切れたことはよかったと思います。明日の試合も厳しい戦いとなると思いますが、スタートから自分達のバレーができるように準備していきます。本日も寒い中、沢山の応援ありがとうございました。明日も応援よろしくお願いします。
	20 第3セット 25						
	13 第4セット 25						
	第5セット						
	要約レポート ホームゲームで地元ファンとの一体感に包まれたヴィクトリーナ姫路とNECレッドロケッツとの対戦。第1セット、姫路はイブナ、貞伯の攻撃、吉岡の早いブロード攻撃で得点を重ねる。一方、NECは古賀、柳田が安定した攻撃で突き放そうとするが、中盤、粘り強いレシーブから攻撃に繋げた姫路がセットを先取した。第2セット、序盤は一進一退の攻防が続いたが、NECは古賀のブロック、上野、柳田の攻撃で得点を重ね、セットを取り返した。第3セット、姫路はスタートから起用された松本が活躍しアタックを決めた。NECは曾我、古賀の強弱をつけたアタックで姫路を翻弄すると、後半に上野の連続サービスエースが決まり、最後は島村のブロックでセットを連取する。第4セット、NECの攻撃に対し姫路は好レシーブでつないだが、勢いを止めきれず、セットカウント3-1でNECが勝利した。						
試合番号 : 419		試合会場 : ウィンク体育館(姫路市立中央体育館)				観客数 : 1,700	
開始時間 : 16:00		終了時間 : 18:23		試合時間 : 02:23		主審 : 城 智人 副審 : 西中野 健	
久光製薬スプリングス		通算 9勝 9敗 ポイント : 25		17 第1セット 25		岡山シーガルズ	
監督コメント	予想していた通りかなりタフなゲーム展開となりました。選手たちが相手の軟打を織り交ぜた攻撃をブロックとレシーブで守り、得点を重ねることができました。このような苦しいゲームを勝ち切れたことは、チームとして大きな自信となりました。私たちは目の前の一戦一戦をしっかりと戦い、上を目指していきます。明日の大事な試合に向けてしっかりと準備します。本日も沢山の温かいご声援ありがとうございました。		3	28 第2セット 26		2	監督コメント 第1セット、いい流れで勝利したにもかかわらず、第2セット、スタートでややほっとした気の緩みを久光製薬につかれシーソーゲームとなりました。流れのないままのゲーム展開は過去の試合での反省と同じで、司令塔やキャプテンがその流れを読んでプレーしていくことが、これからの大事な勝利へと結びついていきます。本日は沢山の温かいご声援ありがとうございました。明日も頑張りますのでよろしくお願いします。
	19 第3セット 25						
	25 第4セット 22						
	15 第5セット 11						
	要約レポート 対戦成績が互いに1勝1敗の高チームの対戦は、フルセットまでもつれる白熱したゲームとなった。第1セット、岡山シーガルズは、渡邊、金田の強弱織り交ぜた攻撃で久光製薬スプリングスを圧倒した。第2セット、久光製薬は石井、井上が得点を重ねて岡山を突き放す。挽回したい岡山だが、攻撃がブロックに捕まり、終盤まで久光製薬にリードを許す。岡山は代わって入った長瀬の攻撃から流れを引き寄せデュースに持ち込んだが、最後は新鍋の好プレーで久光製薬がセットを取り返した。第3セットは、佐々木のフェイント、渡邊のバックアタックで勢いに乗った岡山が久光製薬を引き離して、セットカウント2-1とした。第4セットは、序盤から両チームとも粘り強いラリーが続く。流れが交互に入れ替わる展開となったが、中盤以降、新鍋、井上の攻撃で安定して得点を重ねた久光製薬がセットを取り、勝負の行方は第5セットへ。最終セット、久光製薬は石井が勢いに乗り、岡山を一気に引き離す。その後もファビアナ、井上、新鍋の攻撃で岡山の追従を許さず、久光製薬がこの接戦に勝利した。						
試合番号 : 420		試合会場 : 黒部市総合体育センター				観客数 : 2,270	
開始時間 : 11:00		終了時間 : 12:34		試合時間 : 01:34		主審 : 吉岡 奈々 副審 : 佐々木 伸子	
KUROBEアクアフェアリーズ		通算 1勝 19敗 ポイント : 5		20 第1セット 25		PFUブルーキャッツ	
監督コメント	ホームでの最終週、チャレンジ4に向けて非常に重要なゲームでした。第1セット序盤からサーブレシーブが乱れ、リズムをつくることができず、相手のフェイントへの対応、こぼれ球の処理なども甘く、簡単に失点してしまいました。もう少し冷静な判断ができれば、違う展開になっていたと思います。明日は、トヨタ車体クイーンズとのレギュラーラウンド最終戦となります。チャレンジ4に向けて勢いのあるゲームをしたいと思っています。今後ともご声援よろしくお願いします。		0	20 第2セット 25		3	監督コメント レギュラーラウンド最終週に向けて、この1週間、モチベーション高く練習してきました。その結果が勝利に結びついたと思います。開幕戦と比べて、チームとしても選手個人としても成長していると思うので、それを明日の試合で発揮できるように頑張ります。本日も沢山の温かいご声援を頂き、ありがとうございました。
	17 第3セット 25						
	第4セット						
	第5セット						
	要約レポート スターカンファレンス5位のPFUブルーキャッツと6位のKUROBEアクアフェアリーズの北陸勢による対戦。今シーズンの対戦成績は1勝1敗の五分。勝ち越したいという意地と意地がぶつかり合う一戦となった。第1セット、PFUが鳥嶋のサーブで相手を崩し、5-0とリードする。中盤、KUROBEは雪丸のブロックなどで追いすがすが、PFUが堀口を中心とする攻撃で着実に得点を重ね、セットを先取する。第2セット、両チームとも好レシーブでラリーが続く。接戦のまま終盤まで進む。PFUが19-18から津賀のブロックポイントと堀口のサービスエースの連続ポイントで抜け出すと、その後もリードを広げてセットを連取する。第3セット、後がなくなったKUROBEはローテーションを変更して浮島と白岩の攻撃などで得点するが、PFUは鳥嶋の的を絞らせないトス回しと緩急織り交ぜた攻撃、高さを生かしたブロックで勢いに乗り、ストレートで勝利した。						

試合番号 : 421		試合会場 : 黒部市総合体育センター				観客数 : 2,700	
開始時間 : 13:30		終了時間 : 15:48		試合時間 : 02:18		主審 : 小野 将人	
副審 : 北村 友香		通算		通算		通算	
JTマーヴェラス		17勝 4敗 ポイント: 49		25 第1セット 20		東レアローズ	
<p>監督コメント</p> <p>高さとパワーのある東レに対して、自分たちの課題を一つ一つクリアしていくために良い準備をして臨みました。ゲーム中盤から自分たちのサーブが弱くなり、東レのミドルブロッカーに決められ、ブレイクが奪えず試合のペースを持って行かれてしまいました。終盤、代わって入ったヒックマンが流れを変え、粘り強いバレーボールで勝利することができました。ファイナル8に向けて、しっかりと自分たちのバレーボールをして、応援してくださる方々に感動を与えられるように努力していきます。本日はありがとうございました。</p>		3		23 第2セット 25		2	
				25 第3セット 18			
				17 第4セット 25			
				15 第5セット 12			
				監督コメント			
<p>要約レポート</p> <p>スターカンファレンス1位のJTマーヴェラスと2位の東レアローズの対戦。今シーズンの対戦成績は1勝1敗で、2試合ともフルセットにもつれ込んでおり、予想通りの接戦が繰り広げられた。第1セットは中盤まで互いに譲らず、一進一退の展開となる。16-16からJTが林のスパイク、トルーズの連続ブロック、田中(瑞)のサーブなどで5連続得点しリードすると、その流れでセットを先取した。第2セット、東レが黒後のスパイクなどで得点を重ね16-12とリードしたが、JTはトルーズのスパイクなどで5連続得点し逆転する。しかし、東レは小川、クランのスパイクなどで再びリードを奪うと、そのままリードを守り、セットを取り返した。第3セットはJTが18-16からトルーズのスパイクで5得点、サービスエースで2得点してセットを取ると、続く第4セットは東レが12-9からクラン、黒後のスパイクなど8連続得点で流れを掴んでセットを奪い返し、試合の行方は最終セットに移った。第5セット、序盤にJTが連続得点で8-5とリードを奪ったが、東レはクラン、石川のスパイクなどで徐々に追い上げ、12-12となる。そこから、JTは芥川人のブロック、田中(瑞)のスパイクなどで3連続得点し、接戦に決着をつけた。</p>							

試合番号 : 422		試合会場 : 黒部市総合体育センター				観客数 : 2,800	
開始時間 : 16:35		終了時間 : 18:28		試合時間 : 01:53		主審 : 森口 豊	
副審 : 中山 健		通算		通算		通算	
トヨタ車体クインシーズ		13勝 7敗 ポイント: 35		25 第1セット 19		埼玉上尾メディックス	
<p>監督コメント</p> <p>強力な攻撃力とブロック力を持つ埼玉上尾に対して、入念な準備をして自信を持って挑むことをテーマに、勝利を収められたことを嬉しく思います。埼玉上尾は岡山以外のチームから勝利を挙げているので、我々が敗戦の教訓を生かして、どれだけ成長、進歩しているかを知る大事な一戦だったと言えます。セッターの山上の安定と、チームのブロックとディフェンスに対する意識は高まっているので、不断な努力で目標達成に向けて取り組みます。各地から応援ありがとうございます。声は届いています。励みとなっています。</p>		3		25 第2セット 21		1	
				20 第3セット 25			
				25 第4セット 22			
				第5セット			
				監督コメント			
<p>要約レポート</p> <p>スターカンファレンス3位埼玉上尾メディックスと4位トヨタ車体クインシーズの対戦。両チームとも進出が決まっているファイナル8に向け、順位を上げるためにも大切な一戦。第1セット、トヨタ車体が6-7から荒木のブロックとネリマンのスパイクなど5連続得点で勢いに乗り、その流れのままセットを先取した。第2セット、埼玉上尾はシュジュニナル、トヨタ車体はネリマンの両チームのエースを中心とした攻撃で中盤まで接戦となる。終盤、トヨタ車体が荒木の移動攻撃やブロックなどで徐々に点差を広げ、セットを連取する。第3セット、後がなくなった埼玉上尾はリベロの山岸を中心とした粘り強いレシーブでつなぎ、シュジュニナルのスパイクや相手のミスなどで得点しリードする。中盤、トヨタ車体がネリマンのブロックやスパイクで逆転するが、埼玉上尾が三浦のブロックで再逆転し、富永の意表を突いたツアータックなどでリードを広げ、セットを奪い返す。第4セット、トヨタ車体が数田、ネリマンのスパイクや渡邊のブロックなどで16-10と大きくリードする。埼玉上尾もシュジュニナルのサービスエースなどで1点差まで詰め寄るが、トヨタ車体が渡邊の移動攻撃などで逆転を許さず、このセットも取り、ファイナル8に向けて勢いをつける勝利を収めた。</p>							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		通算		通算	
		-勝 -敗 ポイント: -		第1セット			
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		通算		通算	
		-勝 -敗 ポイント: -		第1セット			
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							